

令和2年度 一般会計歳出決算額 「笑顔が未来に広がる緑あ

令和2年度一般会計決算は、歳入総額126億2,413万2,000円、歳出総額5億8,862万4,000円となった。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡
コロナ感染症対策関連の国・県の交付金・補助金が34億円あり、それに伴う支

評価

●コロナ関連

町内公共施設・教育関連施設・社会福祉施設等への感染症対策
社会福祉施設等への PCR 検査実施
中小企業等応援クーポン事業、プレミアム付商品券事業



県営まつぶし緑の丘公園内に
「すくすくひろば」開設



地域活性化の応援クーポンの配布

- 県営まつぶし緑の丘公園内に「すくすくひろば」の新設
- 小中学校への校内 LAN 整備及び児童生徒 1 人 1 台のタブレット端末機購入
- 児童館「ちびっこランド」の空調設備の改修工事
- 高齢者福祉タクシー利用に新たに路線バスを選択できるように助成制度を改正
- 松伏ふるさとカレースタンプラリーを前年度より登録店を増やして実施
- 老朽化した中間処理場の仮設の受入施設を整備するとともに本体建屋の整備を実施
- 災害対策本部機能を有する防災倉庫の建設用地取得
- 松伏・田島地区産業団地整備事業では、3区画全ての進出企業の決定
- 地域防災計画の見直し
- 様々な障害を理解しサポートする人を育成する「あいサポート」事業の実施

118億9,818万円 **認定** 9月定例会

ふれるみんなのまち」 9月1日から 9月24日

118億9,818万8,000円、差引き7億2,594万4,000円の残額。実質収支は、大・長期化が、私たちの生活様式や価値観まで広く社会全体で影響を与えた中、出が35億円の決算額となった。

課題

- 人口減少や高齢者人口の増加に伴い地方交付税が当初予算比で2億円増えるなど、実質収支は5億8,862万円になった。
- 充実すべき高齢者福祉政策・障がい者福祉政策と、そのための職員配置。
- 交通不便地域や交通弱者のための政策的な検討が進んでいない。
- 身近な生活道路や排水路基盤整備が遅れている。
- 道の駅事業の収支試算が出されたが、前面道路の交通量が推定値であることを含め、試算にはいつも問題点が指摘された。黒字運営は難しい。

賛成討論：自民クラブ

地域防災計画を見直し、避難対策の充実や復旧・復興に対する強化が図られた。町民の消費喚起を図る応援クーポン券事業や、児童・生徒の学習環境の充実を図るGIGAスクール事業など、様々な新型コロナ対策事業が行われたことを評価する。道の駅事業は、慎重に引き続き推進していただきたい。

賛成討論：未来クラブ

スマートフォン決済の導入で納税機会の拡大と利便性向上を図り、効率的な徴収事務に努めた。実質公債費比率が前年度7.2%から6.3%に改善し、将来負担比率も21.8%から17.3%に改善し、高く評価できる。

賛成討論：公明党

災害対策備蓄品について、コロナ禍を踏まえ生理用品を町内各校に配布し、食料品を配布した。公共施設感染症対策の改修工事で、トイレの洋式化、自動水洗化を進めている。成人祝賀事業では、緊急事態宣言のなか、工夫を凝らして70%を超える新成人の参加があったことも評価できる。

反対討論：日本共産党

人口減少や高齢者人口の増加に伴い「町財政が厳しい」と予算がつかない状況が目立つが、決算では5億8,862万円の黒字である。在宅介護の用品支給事業は対象者が限定されており、細やかな対応がとられていない。交通不便対策は、町や町長に真剣な政策的検討をする姿勢がないように思う。